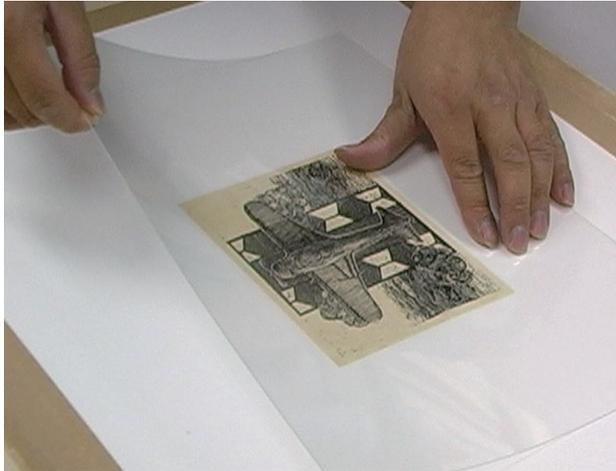




# 裏打ち（版画）

うらうち（はんが）



打ち刷毛



スティック糊による貼り込み



## 概要

版画の裏打ちは、木口木版画やリトグラフにおいて、雁皮紙（がんびし）などの薄い紙に刷られた作品を、しっかりと厚みを持った台紙に貼り込むための技法です。

この技法は、薄い雁皮紙などに摺刷（手摺りによるプリント）する木口木版で多く使用される技法ですが、他の様々な版種において薄い紙に刷られた作品やドローイングなどに幅広く活用することができます。裏打ちの台紙に用いられる紙は、ある程度の厚みを持った丈夫な洋紙が一般的に用いられます。特にその中でも BFK リーブは、丈夫で表面が適度に平滑なため、好まれて使われています。

木口木版で雁皮紙のような薄い紙を使用して摺刷した場合には、インクが紙の裏側まで浸透します。この時、紙の裏側にも表面と同じインクの発色が得られるために、これを利用し、紙の表面側と裏面側の計2枚を、左右もしくは上下対称に台紙に貼り込む「鏡貼り」という手法もあります。この鏡貼りでは、鏡に映したようなシンメトリーのイメージの作品ができるのが特徴です。

裏打ちの手順としては、まず、印刷して乾燥させた作品を貼り込むサイズに切っておき、台紙は合板などにあらかじめ水張り（平張り）をしておきます。切った作品は、薄く透明な塩化ビニル板（薄いアクリル板でも良い）の上に作品の裏面を上にして置き、水で溶いたでんぷん糊を刷毛で中心から放射状に塗布します。作品全面に糊を塗布した後、作品から塩化ビニル板にはみ出した糊を雑巾やウエスできれいに拭き取ります。拭き取ることができたら、糊を塗った作品を板ごと台紙の上に置いて圧着し、塩化ビニル板のみをはがします。後は作品を台紙にしっかりと接着させるために、刷毛（打ち刷毛）を使って中心から外へ空気を抜くように叩きながら圧着させます。刷毛がない場合には、台紙の上に置いた後、塩化ビニル板の上からハンドローラーで圧を与えて貼り付けると良いでしょう。

また、このでんぷん糊を使う方法以外では、スティック糊を使い台紙となる洋紙に貼り込みを行う方法も存在します。

裏打ちは、版画以外でも書画を台紙に貼り込む伝統技法として様々な分野で古くから用いられています。日本

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字

裏打ちは、版画以外でも書画を台紙に貼り込む伝統技法として様々な分野で古くから用いられています。日本画の裏打ちでは、和紙や絵絹を補強するために、生麩糊（しょうふのり）を用いて細川紙や薄美濃紙などの裏打紙に貼りこみます。この日本画の裏打ちには、本打ち、地獄打ちと呼ばれる二つの裏打ち技法が存在します。

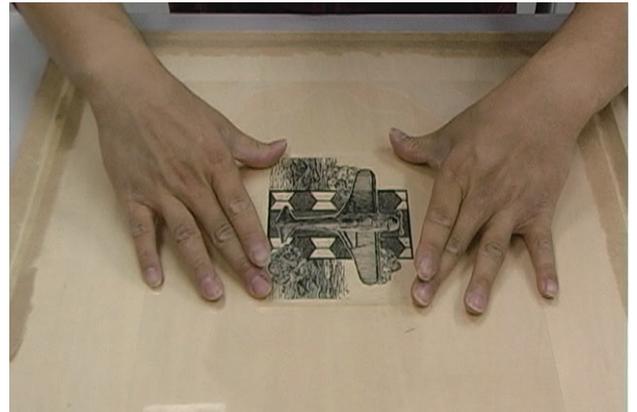


手順3. 刷毛や手などでよく混ぜます。この時に糊がダマになって残らないように気をつけましょう。

## 裏打ち



手順1. 雁皮紙などに刷った作品を貼り込む大きさに裁断します。



手順4. 裁断した作品を薄い塩化ビニル、アクリルなどの透明な樹脂板（1mm厚以下）の上に、作品の裏側を上に向けて置きます。



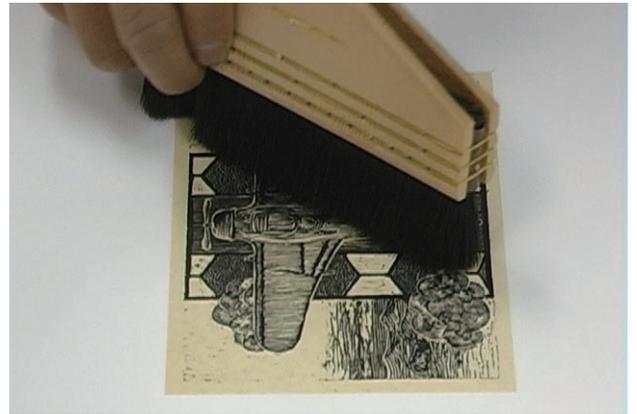
手順2. 小皿やボールなどにでんぶん糊を出し、その3～4倍の水で薄めます。



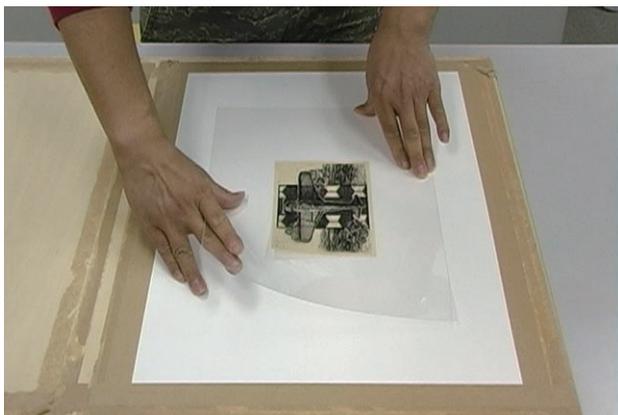
手順5. 作品の裏側に先ほど作った糊を水で溶いたものを中心から外に向かって刷毛で塗布します。



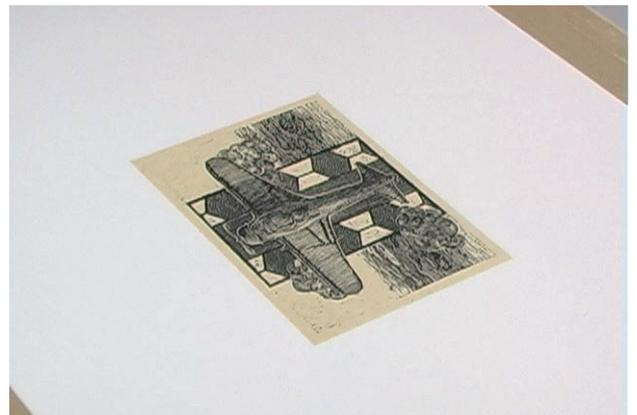
手順6. 作品からはみ出した糊は、ウエスで丁寧に拭き取ります。また、作品の上にいる糊は、タオルなどで上から押さえて調整します。



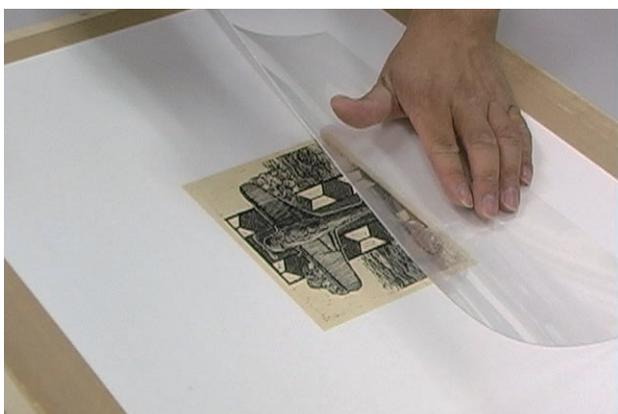
手順9. 打ち刷毛を使い中心から放射状に細かく叩き、空気を押し出すようにしてさらに作品を台紙に圧着させます。



手順7. あらかじめ水張り（平張り）しておいた台紙（洋紙）の上に樹脂板ごと貼り込みたい場所に移動し、上から手で押さえて圧着させます。



手順10. 乾燥させたら完成です。



手順8. 圧着させたら樹脂板のみを剥がします。



手順1. 刷り終えた雁皮紙を作品の形に合わせて裁断します。

#### スティック糊による台紙への貼り込み



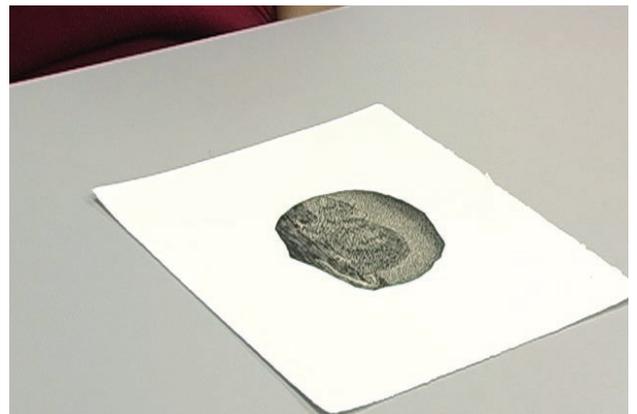
手順2. スティック糊を数ミリ繰り出します。



手順5. あて紙をして、バレンで圧をかけます。



手順3. 定規で押さえながら、裏面を半分ずつムラなく塗っていきます。(この時、シワができないよう内側から外側に向かって塗っていきます。)



手順6. 圧着して乾燥させたら完成です。



手順4. 塗り終わったら、定規を使って紙の端を持ち、台紙に置きます。